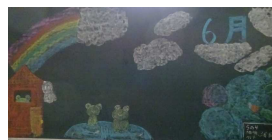


花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和7年6月20日 No.26

クラスタイム

今年度、本校では、『仲間と話し合うことで学びを深める子～子どもが考えを「もつ→広げる→深める」ことのできる授業づくりを通して～』というテーマを設定して研究に取り組んでいます。この研究によって育てたいと考えている子ども像は下の図のとおりです。

2 こんな子どもを育てたい!!

- ・課題に対して自分なりの考えをもち、仲間に伝えようとする子。
- ・仲間の考えに耳を傾け、話し合うことを通して自身の考えを広げていく子。
- ・話し合いによって広げた考えをもとに、課題に対する自分の考えを見直し、深めていく子。

も て な い			
も て る			
言 え な い			
言 え る			
聴 け な い			
聴 け る			

・文章で表す
・絵や色で表す
・数値で表す(例:心の数直線)
・選択肢から選ぶ など
考えの表し方は工夫できる!

・書いたことを言う(読む)
・絵の説明をする
・色や数値の理由を言う
・選んだ理由を言う など
言葉を発することが難しい
児童もいるため、「ぼかぼか反
応うちわ」(R6よしのめ)など
の工夫もあり!

考えの押しつけや否定が多くな
ってしまうのは、自分の考えをし
っかりもっているから。自分の考
えを言えるようになってと増えてく
るタイプだが、それは成長過程!

「もつ」→「言う」
→「聴く」を繰り返
すことで、考えが広
がったり深まったり
していくよ。

「もつ」がスタート
とは限らないね。

そして、そのための手だての一つとしていることが「クラスタイムを活用した活動」です。毎週水曜日の清掃の時間をクラスタイムとし、全学級で、「聴く力、話す力」を高めること、「話しやすい学級の雰囲気」を創ることを目的にスキルトレーニングを行っています。現在は、「アドジャン」という活動に取り組んでいます。



上の写真が、「アドジャン」に取り組む子どもたちです。学年によって、ペアだったり小グループでやったりと様々ですが、笑顔で話したり、うなづきながら聞いている様子がみられています。写真のように身振り、手振りでも話す子もいます。聴いてもらえるという喜びが、話したいという気持ちを高めているようです。アドジャンについては次項の資料のとおりです。

【活動の進め方】

1 めあての確認

※クラスの実態に合わせて身につけたい力を中心に、めあてを確認(例)

- ・自分のことをより知ってもらえるように話をしよう
- ・友だちのことをよりよく知ろう
- ・友だちの目を見て、話をしよう
- ・うなづきながら聴こう

2 ルールの確認

- ①「ルール」を電子黒板に映しながら確認
- ②「アドジャン」と言いながら、グーまたは、1から指5本までのいずれかを出す。合計が2桁になったときは、1の位で数を決める。
- ③全員が話終わったら、再度「アドジャン」をして新たなお題で話す。

ルール

- ①「おねがいします」ではじまり、「ありがとうございました」でおわります。
- ②ともだちの目を見て、話をします。
- ③ともだちの話は、うなづきながら、笑顔で聴きます。
- ④ともだちの話は、ひていしません。
- ⑤1分間は話しつづけます。とちゅうで時間がきてしまったら、とちゅうでも話をおわります。
- ⑥話したくないいようは、「パス」をしてもかまいません。



3 活動1

- ①2～4人グループを作る
- ②タブレットを1台グループに置き、お題が見えるようにする。
※タブレットの置き場に注意(活動の邪魔にならないように、机の端に置く)
- ③1(～2)分間続ける
※理由は活動2で伝える。理由は言わずどんどん答えていく。
→始めは、たくさんの友達と関わりをもたせるために活動1を繰り返し行ってもOK(クラスの実態に合わせて)
- ④教師が活動1への価値づけをする(フィードバック)
(例)
 - ・うなづきながら聴いていたね
 - ・友だちの方を見て、話すことができていたね



←このグループだと8のテーマについて一人ずつ話していく

4 活動2

- ①活動1で答えた理由について質問し合う(アドジャンは行わず、質問したいことから)
※活動1の続きはしない
- ②2分間続ける

5 ふりかえり(シェアリング)

- ①自分の心の中(目を瞑って30秒)、友達などと、その時に合わせてふりかえりをする
※順番にではなく、話したい子から
※話したくないと思う子にも、声はかけるけど、無理はさせない



- ① いちばん好きなおかしは？
- ② 夏と冬どっちが好き？
- ③ なに色が好き？
- ④ いちばん好きなどうぶつは？
- ⑤ 休みじかんは、なににすごすのが好き？
- ⑥ えんそくで、いちばん楽しみなことは？
- ⑦ おばけはしんじる？
- ⑧ きこの夜ごはんは、なにを食べた？
- ⑨ GWでたのしかったことはなに？
- ⑩ いちばん好きなきゅうしょくは？



取組はまだまだ始まったばかりですが、日々、授業を見ていると子どもたちの聴いたり、話したりする様子が少しずつ変わってきているように感じます。周りの子たちがしっかりと聴いてくれるからでしょう、挙手が増え、自信をもって話す子どもたちの姿が見られています。ご家庭でもクラスタイムの様子について話題にしてみてください。

ありがとうございました

「花咲く明日を」No.25で、学校で子育て中の鳥について記しましたが、次の日に何人かの子が、〇〇〇(鳥の名前)じゃないかと教えてくれました。中には、右のように資料まで作って届けてくれた子もいました。ありがとうございました。鳥に詳しい杉浦亘先生によると、「ハクセキレイ」だということです。

私のつたない「たより」ですが、読んでいただき、さらに、お子さんにもお話しいただいていることが分かり、大変嬉しく思います。本当に感謝です。ありがとうございます。

ハクセキレイ

スズメ目 セキレイ科に分類される野鳥



全長 ... 21cm
環境 ... 市街・住宅街
河川・湖沼
溪/農耕地/草地/裸地
色 ... 白系/黒系/黄系



4年1組 山口奏太

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和7年6月23日 No.27

少年の主張大会

高浜市では、少年が日ごろ生活を通じて考えていること、実践していることを広く訴えることにより、少年自身の社会性と自主性を培うこと、また、少年の主張を聞くことを通して、現代の少年の考えを把握し、大人社会を再考するきっかけとするとともに、高浜の将来を担う少年たちの成長を側面から支援していこうとする機運を醸成していくことをねらい毎年、少年の主張大会が開催されてきました。

今年は42回目の開催で、吉浜小学校からは、6年生の外山陽咲さんが代表として参加しました。大勢の観客を前にしてプレッシャーもあったかと思いますが、そう感じさせない堂々とした意見発表でした。よくがんばりました。以下に外山さんの主張を紹介します。

夢をあきらめない

吉浜小学校 6年 外山陽咲

ある晴れた日曜日の朝のことです。さわやかな風がふき、飼い主といっしょに歩いている犬も気持ちよさそうに散歩を楽しんでいます。自転車で乗った小学生のグループが、歩いている私を追いこしていききました。全員野球のユニフォームを着て、リュックからはバットの音がのぞいています。今日はどこかで練習試合でもあるのでしょうか。「がんばってきてね」と心の中で応援しました。さて、皆さんはこの話を聞いて、光景がイメージできたでしょうか。犬はどんな犬でしたか？ 小さい犬ですか？ それとも大きい犬ですか？ 小学生のグループはどんな子達ですか？ 元気のよい男の子達ですか？ それとも大人しそうな女の子達ですか？

私は、保育園の年中から野球チームに入っています。私のチームは、全員で十二人います。同じ野球チームの中に、女子は私一人です。私の夢は、女子硬式野球チーム「廿日市サンブレイズ」の選手になり、「マドンナジャパン」に選ばれることです。その夢を叶えるために、毎日練習に取り組んでいます。現在の目標は、今いるチームで一番の選手になることです。目の前の目標を一つ一つこなすことで「マドンナジャパン」に選ばれるという夢が叶えられると思っています。そして、その夢に向かって努力する中で心の中に強く生まれてきた思いが二つあります。一つ目は、試合会場に女子トイレがない場所があるので、全ての試合会場に女子トイレを作ってほしいということです。昔は「野球は男の子のスポーツ」と思われていたかもしれませんが。でも今は、私のように野球を本気で頑張っている女の子がたくさんいます。それなのに、トイレがなく困るなんて、とても悲しいことです。だから私は、すべてのグラウンドに女子トイレを作ってほしいと願っています。二つ目は「女の子が野球をするのはおかしい」という考えをなくしてほしいということです。私は小学二年生のとき、男の子にこう言われました。「女子野球なんてないよ」「女の子が野球をするなんておかしい」。その言葉聞いたとき、私は悔しさと、悲しさで、胸がいっぱいになりました。でも、それがきっかけで、「絶対に見返してやる」と思いました。今では野球のトレーニング教室にも通っています。でもそこでも、「女の子だから」とやりたくないことを押しつけられたり、文句を言われ避けられたりすることもあります。私は、そんなふうに「女の子だから」と差別されたり、笑われたりするの、とてもつらいです。そして、それは私だけではありません。私と同じようにつらい思いをしている女の子が、きっとたくさんいます。そうした言葉や態度は、人の気持ちを傷つけ、その人の夢や可能性を奪ってしまうと思うのです。

はじめの話にもどります。野球のユニフォームを着ている小学生グループをどんなふうに想像しましたか？ きつと多くのみなさんが「元気のよい男の子」をイメージしたのではないのでしょうか。もしもそうだったら、そんなあなたに伝えたいです。人が当たり前だと思っていることで、傷ついている人がいるかもしれないことを。私は、夢をあきらめたくありません。そして、どんな人も、性別や思い込みで差別されることなく、自分の夢を堂々と語れる社会になってほしい。そう強く願っています。

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和7年6月25日 No.28

「アスリート派遣等による体育授業等の充実・高度化の促進事業」に参加しました

アスリートとの交流の中で、子どもたちが運動の価値や意義を感じ、望ましい運動習慣を形成し、体力・運動能力の向上を目指すことを目的とするスポーツ庁の事業に6年生が参加しました。

アスリートとして本校に来てくださったのが陸上競技の湯田友美さんです。初めにストレッチを行いました。続いて動きづくりの運動を行い、腕と足を連動させた動きに挑戦しました。簡単そうに見えてなかなか難しく、苦戦する子が結構いました。こうした運動を通して、走るときの足の使い方や姿勢、腕の使い方などを教えてくださいました。最後に、クラスごとにチームを組み、コーンリレーを行いました。2回チャレンジし、多くのチームが1回目から2秒以上も記録を縮め、子どもたちは嬉しそうな表情を見せていました。

最後に湯田さんから、陸上選手になることは夢ではなく、好きなことを続けてきたら今になっていた。他人と比べることなく自分の好きなことを大切にしたい、続けていく中で苦しくなることもあるが、投げ出さずにチャレンジし続けて欲しいとのメッセージをいただきました。トップアスリートと関わる貴重な経験になりました。

陸上競技 (長距離・駅伝)

ゆだ とみみ

湯田友美

=プロフィール=

生年月日	1985年5月28日
出身地	愛知県犬山市
記録	1,500m : 4分19秒19 3,000m : 9分05秒27 5,000m : 15分35秒92 10,000m : 32分33秒28
現在	スマイリーエンジェル代表 adidas runners Tokyoコーチ 各地マラソン大会ゲストランナー JFAこころのプロジェクト 夢の教室 講演などで活躍中



この活動を通して、体を動かすことの楽しさ、
大切さを少しでも感じてもらえたらうれしいです。
楽に走れる方法を教えます！
一緒に走ることを楽しみましょう！

=主な戦歴=

2004年	アジアジュニア 3000m 優勝 世界ジュニア 3000m 4位
2007年	日本選手権 5000m 4位 世界クロスカントリー 日本代表
2008年	全国女子駅伝 優勝



花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和7年6月27日 No.29

6年生から1年生に



6年生が自作の紙芝居を1年生に読んであげていました。1年生は楽しそうに聞いていました。この時、「運動会の金メダル」をもらっていた学級もありました。1年生の子どもたち、きっと6年生になった時にこのことを思い出して…、継承されていくのですね。



児童会「異学年交流」

児童会による今年度の異学年交流は、「1、3、5年生」、「2、4、6年生」での3学年合同の交流を計画しているそうです。3学年における3つの学級の組み合わせはくじで決め、それぞれの最高学年である5年生・6年生が交流の内容を決めるそうです。「あまり交流のない異学年と遊ぶことによって多くの子と知り合い仲良くなって欲しい、異学年への関わり方を考えることで思いやりの気持ちを育てて欲しい」という願いを込め、昨年度とは違う交流の仕方考えたそうです。活動を通して、今年度の児童会スローガンである「勇気を胸に、笑顔で絆を深める吉小」に向かって進んでほしいと思っています。



1年生「アサガオ」、2年生「野菜」～順調に育っています～



花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和7年6月30日 No.30

音楽発表

6年生、4年生の各学級が音楽の時間に練習した歌や演奏を聞かせてくれました。



笑顔で楽しそうに歌ったり演奏したりする子どもたちの姿が印象的でした。そして、その姿を穏やかな表情で見つめていたそれぞれの学級担任の先生たちの姿も印象に残っています。このようなすてきな場面に呼んでいただき、本当に嬉しく思っています。

人によって声の大小はあるでしょうが、歌では「自分の出せる声をしっかりと出し切ることができているかどうか」をいつも気にしていました。それは、安心して自分を表現することが難しい学級集団では、しっかり声を出すことは難しいと思っているからです。私にとって歌は学級の様子を見極めるものさしの一つでした。

学級のみんが小さな声しか出さない中で、一人で全力を出し切ることができるでしょうか。難しいと思います。しかし、みんなが自分の声をしっかりと出し切っている、そういった中ではどうでしょうか。安心して自分もしっかりと声を出せるはずだと、何の根拠もありませんがそう信じてやってきました。

今回のそれぞれの学級の歌や演奏は素晴らしかったですが、それぞれの学級の雰囲気がよく、一人一人が安心して自分を表現できる学級になっていることが感じられました。このことが一番の喜びでした。